

津山市立図書館電算システム及び関連機器の賃貸借に係る公募型プロポーザル審査基準

1 目的

この要領は、津山市立図書館電算システム更新事業を実施する候補者を選定するために、提案者の審査基準を定めることを目的とする。

2 審査

津山市立図書館電算システム及び関連機器の賃貸借に係る公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において審査を行う。

3 審査方法

- (1) 提案者から提出された企画提案書等による書類審査及びプレゼンテーションによる審査とする。
- (2) 提案者が行うプレゼンテーションは、1社30分以内とし、その後、質疑応答時間を10分程度設ける。

4 審査項目及び評価割合

- (1) 企画提案審査における審査項目の評価割合は次のとおりとする。

	審査項目	評価点
1	機能要件の達成度	45
2	企画提案書及びプレゼンテーションの内容	15
3	実績、保守及び運用支援の内容	15
4	コスト評価	25
	合計	100

- (2) 審査については、審査委員会において審査委員（以下「委員」という。）1人当たりが100点満点で評価し、委員5人の合計点（500点満点）の最上位の提案者を候補者と決定する。評価が同点の場合は、価格が安い提案者を最優秀提案者に選定する。
- (3) 最優秀提案者が2者以上ある場合は、くじ引きにより最優秀提案者を決定する。
- (4) 合計点が300点に満たない提案者は失格となる。
- (5) 提案者が1者のみでもプレゼンテーションを実施し、合格ラインは300点とする。

5 評価基準

- (1) 機能要件の達成度（配点割合45%）

①機能要件確認書の達成度の評価基準は次のとおりとし、合計得点を算出する。

区分	評価基準の内容	得点
A	パッケージの標準機能で対応可能	10
B	オプション機能により対応が可能	8～6（経費等により高低）

C	代替機能を提案して実現可能（経費を必要としない）	5～3（達成度により高低）
D	カスタマイズで対応が可能	2～1（経費等により高低）
E	提案するパッケージでは対応できない	0（必須の場合は失格）

②機能要件の（ア）～（ウ）は下記の評価基準とする。

区 分	評価基準の内容	評価点
（ア）パッケージソフトの完成度	津山市立図書館電算システム及び関連機器の賃貸借要求仕様書（以下、仕様書）に定めるパッケージソフトの完成度は優れている	300
	仕様書に定めるパッケージソフトの完成度はある程度優れている	250
	基本的なパッケージソフトは整っており、ある程度完成度は高い	200
	仕様書に定めるパッケージソフトと合っていない	0
（イ）ネットワーク全体の構成内容・セキュリティ対策	仕様書に定めるセキュリティー対策等が十分とられている	300
	仕様書に定めるセキュリティー対策等がとられている	250
	仕様書に定めるセキュリティー対策等に脆弱な部分がある	100
	仕様書に定めるセキュリティー対策等がとられていない	0
（ウ）データ移行	仕様書に定めるデータ移行の安全性は優れている	300
	仕様書に定めるデータ移行の安全性はある程度優れている	250
	仕様書に定めるデータ移行の安全性は高い。	200
	仕様書に定めるデータ移行の安全性に問題がある	0

③評価点への換算（①+②の合計点）

区分	得点の範囲	換算評価点
1	最高得点者	45
2	最高得点者との差が 40 点以内	42
3	最高得点者との差が 41 点以上 60 点以内	39

4	最高得点者との差が 61 点以上 80 点以内	36
5	最高得点者との差が 81 点以上 100 点以内	33
6	最高得点者との差が 101 点以上 120 点以内	30
7	最高得点者との差が 121 点以上	27

(2) 企画提案書及びプレゼンテーションの内容（配点割合 15%）

- ① 図書館サービスに対する基本的な考え方
- ② 業務改善の有効性
- ③ 提案内容の有効性
- ④ その他特筆的提案

区 分	評価基準の内容	評価点
① 図書館サービスに対する基本的な考え方	図書館サービスに対する基本的な考え方が大変優れている	4
	図書館サービスに対する基本的な考え方がある程度優れている	3
	図書館サービスに対する基本的な考え方が優れている。	2
	図書館サービスに対する基本的な考え方が十分ではない	1
	図書館サービスに対する基本的な考え方に問題がある	0
② 業務改善の有効性	有効性が高く内容が優れている	4
	有効性が高くある程度内容が優れている	3
	基本的な機能は整っており、ある程度有効性が高い	2
	物足りない部分がある	1
	有効性は高くない	0
③ 提案内容の有効性	提案内容が優れていて、良いサービスや業務改善が実現できる	4
	提案内容が良く、良いサービスや業務改善につながる	3
	提案内容は十分ではないが、良いサービスや業務改善につながる可能性がある	2
	提案内容に有効性は少ない	0
④ その他の特筆的提案	仕様書に定める津山市立図書館の課題に対応する特筆的提案が大変優れている	3

	仕様書に定める津山市立図書館の課題に対応する特筆的提案がある程度優れている	2
	特筆的提案が十分ではない	1
	特筆的提案がまったくない	0

(3) 実績、保守及び運用支援の内容 (配点割合 15%)

① 図書館システムの導入実績

- ・ 同規模図書館構築実績
- ・ 導入館数、IC タグ・自動貸出機構築実績

② バージョンアップへの対応

- ・ 定期的なバージョンアップ
- ・ 図書館の要望への対応

区 分	評価基準の内容	評価点
① 同規模図書館構築実績	同規模図書館（複数館）の構築実績が複数ある	3
	同規模図書館（複数館）の構築実績がある	2
	規模が小さいが構築実績が複数ある	1
② 導入館数、IC タグ・自動貸出機構築実績	現在県内外を含めて 10 館以上導入館があり、IC タグ、自動貸出機の構築実績が複数ある	4
	現在県内外を含めて 10 館以上導入館があり、IC タグ、自動貸出機の構築実績がある	3
	現在導入館がない、IC タグ・自動貸出機構築実績がない、のうち一つでも当てはまる	0
③ 定期的なバージョンアップ	年に 1 回以上あり、図書館の要望が受け入れられ、保守の範囲内で対応可能	4
	定期的なバージョンアップはないが、図書館の要望により、保守の範囲内でカスタマイズが可能	3
	年に 1 回以上あり、保守の範囲内で対応可能であるが、図書館の要望は受け入れられない	2
	定期的なバージョンアップはあるが経費が必要。または、定期的なバージョンアップはない	0
④ 図書館の要望への対応	図書館の要望に保守の範囲内で対応可能であり、1 年に 1 回は、業務の効率化や運用改善、新サービスの提案がある	4
	図書館の要望に保守の範囲内で対応可能である	3

	要望に対応することは不可能だが、代替案を提案し、応えることができる	2
	経費はかかるが対応可能	1
	対応できない	0

(4) コスト評価 (配点割合 25%)

見積上限額との差	評価点
-15%以上	25
-15%未満	22
-12%未満	19
-9%未満	16
-6%未満	13
-5%未満	10
-4%未満	7
-3%未満	4
-2%未満	2
-1%未満	1
同 額	0